

平成二十六年 度

浜松学院大学

同窓会だより



浜松学院大学校歌

後藤一夫 作詞

奥村唯夫 作曲



と お か い の あ さ あ け も 一 え 一 て あ
ひ お く まし の かい が や き お が け け に あ
よ の し お の い ま さ き が け て す

お り そ う の か ぜ か お 一 り え い ち の い ず み
い と ま そ と の は か な て た 一 ね つ い ち う あ せ の
す む ぶ ん か の の か な を う 一 み の そ か み は た か く

ふ き 一 あ げ る わ れ ら の ち か ら
ひ と 一 つ ぶ な る わ れ ら の い の め ち
む ね 一 に な る わ れ ら の し め い

こ こ に た つ こ ぞ り た つ じ しゅ の が く え
あ す お い ゆ く の め び て よ ぶ は こ え の が く え
き お い ゆ く の め び て よ ぶ は こ え の が く え

ん あ 一 あ は ま ま つ が く いん だ い が く
ん あ 一 あ は ま ま つ が く いん だ い が く

校歌

後藤一夫 作詞
奥村唯夫 作曲

一、

東海のあさあけ燃えて
あおぐ理想の風かおり
英知の泉ふきあげる
われらの力
ここに立つ 挙りたつ

自主の学園 ああ
浜松学院大学

二、

曳馬野のかがやく丘に
愛とまことの花のたね
培う汗の一つぶが
われらのいのち
あすを呼ぶ 夢を呼ぶ

誇る学園 ああ
浜松学院大学

三、

世の潮にいまさがけて
すすむ文化の糧をうみ
のぞみは高く胸に鳴る
われらの使命
勢いゆく のびてゆく
栄えの学園 ああ

浜松学院大学

平成二十六年

浜松学院大学同窓会

総会・懇親会次第

- 一、開会の辞
- 二、会長挨拶
- 三、理事長・学長挨拶
- 四、議 事
 - ・平成二十五年度事業報告及び会計報告
 - ・新役員紹介
 - ・平成二十六年事業計画及び予算
- 五、閉会の辞
- 六、講演会
- 七、懇親会
 - ・開会の辞
 - ・校歌斉唱
 - ・議員紹介
 - ・アトラクション（浜松・花蝶ちゃん）
 - ・抽選会
 - ・閉会の辞

平成26年度浜松学院大学同窓会講演会

2014年7月27日

講演タイトル：

「食は命」～守りたい日本食の素晴らしさ～

講演要旨：

「食は命の源なり」と言われているように、人の体は食べた物が細胞となりその細胞も、新しい細胞と入れ替わっています。

ということは体に良い食べ物だけを食べ、体に良くない食べ物を食べなければ健康な体になっていくはずです。

その命題の基に、知久屋が歩んできた道と、これから歩む道をお話しします。

また日本食が世界無形文化遺産に登録されました。その日本食の素晴らしさをお伝えしたいと思います。

そして、食を通じてもう一度元気のある浜松にできないか提案してみたいと思います。

講師：知 久 利 克 株式会社 知久 代表取締役社長

略歴：1949年 静岡県生まれ

1987年 株式会社知久 設立 代表取締役

1994年 ベトナム現地法人 合弁会社「ナチュラルフーズ」設立

健康に良い食の提供と日本の安全な食料品自給率アップを目指す

趣味 世界の坂と食文化、アドベンチャーツアー





同窓会会長

大村 弘 司

「継 続」

平成26年度同窓会総会・懇親パーティが、本日盛大に開催されました。心からお喜び申し上げます。

今年は「和」をテーマとし、日本の文化を思い起こしていただくために、「和食」を取り上げてみました。「食」は生きるための最大のエネルギー源でもあります。楽しみでもありますが、毎日のことなので与えられたものを当たり前に食していることが多いと思います。

本日の講演「食は命」をご聴講していただき、今後の「食」について思い、日本の文化を思い起こしていただければ幸いです。

さて、小生の会長在任期間が最大の6年となりました。先輩から受け継ぎ、不安と責任の重大さを背負い、いま無事に職務を終えようとしています。このことは会員の皆様の支えや、役員や事務局の協力によりなしたことで感謝申しあげます。同窓会活動の明確な目標、役員全員参加の活動の仕組み、構築に取り組み、理事会の在り方、常任理事会の復活、機能的な組織の在り方など、とりわけ同窓会のガバナンスをしっかりと持つことに専念してきました。具体的には「企画」、「会員組織」、「広報」の同窓会活動の三大要素を委員会制度として組織化しました。責任と権限を与え、それぞれが企画を提案、理事会で審議し、了承を得て実施に移す活動ができました。

会長としては、会員相互の親睦

を図ると同時に、大学の近況報告など、会員間の情報の共有化に専念し、より多くの会員の皆様に現状を理解していただくために努力してまいりました。

母校の特徴は、就職に恵まれていることです。短大は幼児教育が世の中に求められ、これまで多くの卒業生が社会で活躍されています。卒業生も就職に恵まれます。大学の卒業者も就職に恵まれます。様々な業界で活躍し始めており、様々な業後の活躍が大学の最大課題であり、将来の学園の発展の鍵を握っていると思われまします。学生の確保の思索も重要であります。同窓生の社会での活躍がより重要だと思えます。会員皆様の健闘を期待し、母校ならびに同窓会へのご支援、ご協力と応援をよろしくお願いいたします。

いずれにせよ、課題は山積しております。今後の活動を新役員に期待すること大であります。母校の発展と会員の皆様のご健勝、ご活躍を心からお祈り申しあげるとともに、6年間のご支援、ご協力に深く感謝し、御礼申しあげます。

末尾ながら、本日ご臨席いただいた来賓、教職員の皆様に御礼申しあげますとともに、総会・講演会・懇親パーティの成功を確信し、事前の準備に際し努力していただいた企画委員会を中心とした役員、事務局の皆様のご協力に感謝いたします。また、「同窓会だより」に多大なご協賛をいただいた皆様と、製作担当の広報委員会の役員、関係者に重ねて御礼申しあげます。



学校法人興誠学園理事長
浜松学院大学
浜松学院大学短期大学部
学長

ごあいさつ

浜松学院大学同窓会々員の皆さま、暑中お見舞い申し上げます。

今年も連日の猛暑ですが、タツプリ水分を補給して熱中症を予防し、夏を乗り切ってください。

今日はごあいさつに代えて、健康に役立つ知識を紹介いたします。

旧友が集まれば必ず話題になるのが「健康」のことです。TVショッピングでさまざまなサプリメントが視聴者の人気を集めていることから、健康に対する人々の関心の高さが分かります。

お勧めしたいのは『散歩』です。散歩なら、ゆっくりとマイペースで好きな場所をブラブラ歩く。ゆっくりと歩きながら、周囲の風景を眺めたり、季節の花を見たり、鳥のさえずりに耳を傾けて、楽しみを味わいながらゆったり歩きます。携帯端末から流れる音楽を聴きながら、というのも気分がいい。音楽は脳に刺激を与えてくれます。

このようにして歩くと、脳が広い範囲にわたって活性化するといえます。足腰を動かすだけでなく、視覚や聴覚の運動野を刺激するから

雨宮 正 一

からです。しかも意識して毎日違うルートを歩くようにすると、右脳が刺激されるので、脳はフル回転して活性化します。知らないところを歩くと、右脳にその場所の地図が出来上がっていくといえます。

自宅の近所でもよく知っていたはずの場所でも、いつもと違う角を曲がってみたらまるで知らない光景が広がっていることを発見するかもしれません。珍しいお店に出会うかもしれません。こういう体験をすると、脳にフレッシュな刺激を与えられて広く活性化するので

「いつもと違う道を歩いてみる」という散歩のやり方は、無限に脳にフレッシュな刺激を与えるのです。

大学を取り巻く情勢は益々厳しいものですが、健康で元氣一杯の先輩諸兄・諸姉がいつも後ろにいてくれるのは心強いことです。同窓会メンバーの皆さまにおかれましては老若を問わず、いつもご健勝であってください。そして母校に對しいつも変わらない関心と愛情を寄せていただきますよう宜しくお願い申し上げます。

浜松学院大学同窓会 平成25年度事業報告

本同窓会は、会員相互の親睦を図り、大学の発展に寄与することを目的として、次の事業を行った。

1. 会員名簿の発行

これまで会員名簿は5年毎に発行しており、平成25年度発行のため昨年度から会員組織委員会において委託業者の「株式会社サラト」と名簿発行に向けた準備を進め、予定通り平成25年4月1日に発行した。

2. 同窓会報の発行

同窓会活動や収支決算報告、大学・短大の近況報告などの広報を目的とし、広報委員会において企画・編集作業を行った。平成25年度総会開催に合わせて発行し、出席者および協力企業等への配布を行った。

3. ホームページの更新

広報委員会において、同窓会Webサイトの更新を行った。

4. 規程の整備

会員組織委員会において委員会組織の会則掲載など、規程の整備を行った。

5. 諸会議および行事参加

上記事業のため、月1回の正副会長会および必要に応じて各委員会を開催し、議題および事業遂行、次期会長候補者選考方法について協議した。また、大学主催行事へ参加した。会議・行事日程は下記のとおり。

浜松学院大学同窓会 平成25年度活動実績

日時 会議・行事

平成25年	4月3日	大学・短大入学式
	17日	会計監査
	25日	理事会
		平成24年度収支決算報告
		平成25年度収支予算
		平成25年度総会について
	5月16日	常任理事会
	6月20日	平成25年度総会について
		理事会
		規程の改正について
	7月18日	平成25年度総会について
		常任理事会
	8月8日	平成25年度総会について
	10月17日	平成25年度総会・懇親会
	11月16日	学園祭模擬店出店
		年間スケジュールについて
		売上金2万円を寄付する
		(静岡新聞・静岡放送文化福祉事業団)
	12月19日	忘年会
		大学管理職を招待
平成26年	1月18日	短大表現活動研究発表会
	2月20日	平成26年度総会について
		規程の整備について
	3月18日	大学・短大卒業式
		同窓会入会式・新理事紹介・ファイル寄贈
	4月20日	次期会長候補者選考について
		平成26年度総会について

共創祭に参加、売上を寄付

同窓会では、11月16日の共創祭に模擬店「同窓会のドーナツ屋」を出店し、イベントを盛り上げる手伝いをしました。今年も準備したドーナツやお菓子は完売し、売上の20,000円を11月末、静岡新聞・静岡放送文化福祉事業団に寄付いたしました。



2013年の共創祭の様子

平成25年の総会・懇親会の様子



浜松学院大学

浜松市中区布橋3丁目2番3号 TEL 053-450-7000 FAX 053-450-7110

「人・組織・地域
それぞれをつなぐ総合的な人間力」
現代コミュニケーション学部は、子どもコミュニケーション学科と地域共創学科の2学科によって構成されています。

子どもコミュニケーション学科は、幼児教育、保育、初等教育、特別支援教育などの専門職の資格取得を通して、時代や地域のニーズに応えられる教育者や保育者、リーダーシップを発揮できる人材



を養成する学科です。

一方、地域共創学科は、地域の様々な企業などに貢献できる人材を育成する学科です。経営理論や地域の資源をマネジメントする専門的な学びと共に、人の心を理解し、コミュニケーション・スキルを身につけるための専門的な学びを深めて、社会で活躍できる確かな自信を見つけることがでる学科です。

●子どもコミュニケーション学科

「保育と教育を学ぶ」

幼稚園教諭・保育士を目指す「幼児教育・保育専攻」と、小学校教諭・特別支援学校教諭を目指す「初等教育専攻」があります。

時代や地域のニーズに的確に対応する、リーダーシップに優れた教育者・保育者となるために学びます。4年間を通して、充実した専門性の高い講義に加え、直接子どもと関わる体験的なプログラムが豊富に用意されており、教育者・保育者に必要な実践力を確実に身につけることが出来ます。

「取得可能な資格」

保育士資格、幼稚園教諭一種免許状、小学校教諭一種免許状、中学校教諭一種免許状（英語）、特別支援学校教諭一種免許状、小学校英語指導者資格、レクリエーションインストラクター

●地域共創学科

「経営マネジメントと心理を学ぶ」

地域共創学科には、「マネジメント専攻」と「心理専攻」があります。

経営学や経済学などの学びと心理学や社会学の学びを統合し、マネジメントや心理の専門性にとどまらず社会の幅広い領域で活躍できる人材となるために学びます。学科カリキュラムは現代の社会状況を踏まえ、学生自らの興味と関心に応じて科目を選択し、将来のキャリアと自分の生き方を関連付けて学ぶことが出来るようになっています。

「取得可能な資格」

社会調査士、認定心理士、レクリエーションインストラクター、中学校教諭一種免許状（英語）、高等学校教諭一種免許状（英語・商業）

実践力を養う大学独自の教育プログラム「D・I・C・O・R・E・Sプログラム」を教育の中心に据えています。詳しくはP9の記事をご覧ください。

就職先一覧

子どもコミュニケーション学科

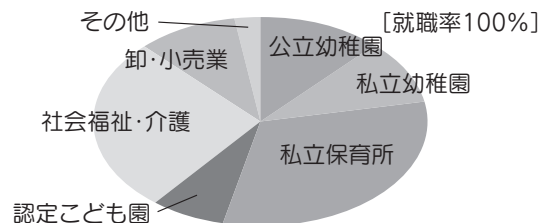
浜松市立幼稚園、湖西市立幼稚園、昭和幼稚園、佐鳴台幼稚園、大清水幼稚園、たんぼぼ保育園、瞳ヶ丘保育園、たかつか光保育園、みなみ保育園、葵ヶ丘保育園、聖隷福祉事業団、曳馬保育園、和光保育園、浜松学院大学付属愛野こども園、ほか

地域共創学科

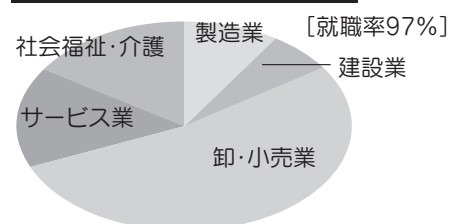
小澤土木、子育て安心住宅、丸茂木工、ソフトブレン工業、一色機材、スズキ自販浜松、遠鉄ストア、ネッツトヨタ静岡、浜松日産自動車、パロー、レナウン、坂井モーター、佐野、丸尾興商、大井川農業協同組合、浜松葬儀、ほか

就職データ

子どもコミュニケーション学科



地域共創学科



浜松学院大学短期大学部

浜松市中区住吉2丁目3番1号 TEL 053-473-6100 FAX 053-473-6196

● 幼児教育科

『子どもたちのために』

子どもとともに歩む

『保育者を目指します』

1965年に幼稚園教員養成所を開設して以来、約50年にわたって、優秀な幼児教育・保育の専門家を送り出してきました。長年にわたって培



てきた教育プログラムと、地域の保育活動に貢献する数多くの卒業生の存在など、確かな礎の上に立つ保育者養成校としての高い評価をいただいています。

また、キャンパスの近くには付属幼稚園、袋井市愛野には付属愛野こども園があります。実習はもとより日常的に子どもや保護者の方々と接することで、学生のうちから生きたコミュニケーションを学び、幅広い体験を積むことができます。

就職支援では、学生の希望と適性を見極めた支援を行い、成功をサポートしています。1年生4月の就職ガイダンスから始まり、作文やピアノ対策など、就職試験に直結する実践的な指導を行う「就職講座」を定期的に開催しています。その結果、高い就職率を実現しています。

短期大学部では、2年間で幼稚園教諭二種免許状、保育士資格を取得することができるので、早く社会に出て活躍したい人には最適です。

【取得可能な資格】

幼稚園教諭二種免許状、保育士、ピアヘルパー、ネイチャーゲーム・リーダー

就職実績（平成26年3月卒業）

卒業生数…153名

就職希望者…149名

就職決定者…149名

奨学支援

入試結果および在学中の学業成績による給付制度があります。

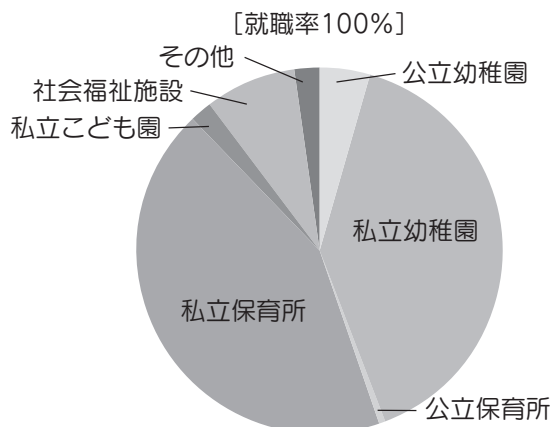
スカラシップⅠ類…授業料半期分給付（2年間）、スカラシップⅡ類…入学後に入学金相当額を給付、特別給費生制度…2年進級時、成績優秀者に10万円給付

就職先一覧

幼児教育科

浜松市立幼稚園、磐田市立幼稚園、袋井市立幼稚園、湖西市立幼稚園、相生学園（相生幼・天王幼）、青葉幼稚園、アソカ学園、鴨江幼稚園、気賀幼稚園、北浜幼稚園、篠ヶ瀬幼稚園、さなる幼稚園、宝学園（入野幼・佐鳴台幼）、富塚学園（富塚幼・湖東幼）、萩丘幼稚園、浜松平和学園（旭ヶ丘幼・平和幼）、磐田聖マリア幼稚園、浜松市立保育所、入野保育園、瑞雲保育園、天竜厚生会、ながかみ保育園、はあもにい保育園、初生保育園、浜松児童福祉園、まるづか保育園、都田保育園、わかくさ保育園、和光保育園、いずみ保育園（磐田）、ルンビ二保育園（磐田）、朝霧荘、和光寮、光明学園、ほか

就職データ



母校の近況

浜松学院大学

経済産業省「社会人基礎力を育成する授業」に DiCoResプログラムが選ばれました

平成23年度から子どもコミュニケーション学科が取り組んできた「DiCoRes（ディコレス）プログラム」が、経済産業省「社会人基礎力を育成する授業30選」の一つに選ばれ、その表彰式が3月9日に行われました。



DiCoResプログラムとは、教育者・保育者をめざす学生の実践力を向上させるためのカリキュラムです。今回は189の応募の中から選ばれたということで、このプログラムを通して現代社会が必要とする基礎力を身に付ける

ことができると認められたことになります。今後もDiCoResの意味する「対話」「協同」「責任」をキーワードに、自信を持って取り組んでいきます。

なお今後は、地域共創学科もDiCoResプログラムを導入し、学部全体で「社会人基礎力」を育成します。地域共創学科では、「地域」との連携を重点においた実践的なDiCoResプログラムに取り組んでいきます。

保育実習報告会

— 子どもコミュニケーション学科 —

子どもコミュニケーション学科では、2月に実施した保育実習について振り返りを行い、報告交流会を開催しました。3年生は、不安と期待でいっぱいだった初めての保育実習から大学にもどり、一回り成長した姿を見せています。努力の証である実習日誌を読み返し、実習での学びを振り返りました。その後は、これから実習を行う2年生に向けて先輩として報告を行いました。

4年生は、これまでの3回の保育実習によって、自分の学びがどう深化したのかをグループで話し合い、何が大切だったのかを互いに確認し合いました。グループで作成した模造紙には「失敗から学ぶ」「学校では学べないことが学べる」など後輩へのメッセージがあふれていました。自分たちの学びを模造紙にまとめあげた4年生には、3回の保育実習をやり遂げた達成感がうかがえました。



“多言語カフェ” スタート！

— 地域共創学科 —

英語に磨きをかけたいという学生たちが集まって、5月から英語カフェが始まりました。

カナダでの留学経験のある白井大輔さん（3年生）、ブラジル人のレアンドロ吉富さん（2年生）、川田ユキオさん（1年生）が中心になって、音楽やストリートアート等、それぞれに興味のあることを食事をしながら気軽に喋りしたり、多民族国家であるカナダ、ブラジルの文化事情に、珈琲を飲むのも忘れて真剣に耳を傾けたり・・・毎回、さまざまな話題を英語で語り合っています。

カフェには、英単語作りを競うボードゲームScrabbleや、日本語版も有名なThe Game of Lifeというゲームも常備されていて、ゲームを楽しみながら英語の運用能力を高めていくこともできます。また、英語の百科事典も常備されているので、そこからトピックを見つけて議論しようという計画もあります。

英語を学ぶというよりは、日常生活の中で英語を使う・・・そんなふうにして、カフェに集う学生たちは、英語を通じた交流を日々楽しんでいます。



教育実習報告

— 地域共創学科 —

教職課程の成果を生かす教育実習の時期がいよいよ始まりしました。今年も、地域共創学科の実習生が市内の中学校で英語を教えます。ここでは、2人の実習生、吉田サユリさんと内山ワリソンさんの中学校での奮闘ぶりを伝えます。

○入念な準備で内山さんが先生に！

研究授業では、生徒たちと英語で挨拶を交わした後すぐに、One Directionの歌を生徒たちと大合唱。軽快なリズムはそのままに、この日の新しい英語表現の導入に入っていました。内山先生の元気のいい英語に反応する生徒たちも元気一杯、最後にはグループごとに学んだばかりの英語を使って、文章を作成しました。

実は5月に、内山さんの要望で実習を見据えた模擬授業を本学で数回行いました。そのときの真摯さはそのままに、実習校の先生方の御指導を受けて、内山さんは立派に内山先生になって、生徒たちと楽しい授業をつくりあげることができたのだと思います。



○生徒の笑顔と励ましに支えられた3週間！

教育実習を終えた吉田さゆりさんは、「3週間の教育実習の経験から教師という仕事の魅力が理解できた。生徒の励ましの声といっぱい笑顔で厳しい実習を乗り切れました。」と振り返りました。

小学校に外国語活動が導入され、中学校の英語教育は大きく変わりました。小学校からの英語教育の接続を重視し、中学校の英語の授業を英語で教えることが求められます。TOEICの得点が975点である彼女も、教えるとなると話は全く別です。授業は無論の事、全ての活動に懸命に取り組む姿勢に対して指導教官より高い評価を得ました。実習で得た教えることの難しさと楽しさは、教育現場のみでなく社会のあらゆる場面で生きると思えます。



近況は、HPのキャンパスニュースや広報誌（バックナンバー）で見ることができます。

母校の近況

浜松学院大学短期大学部

教育実習が始めました

6月2日から3週間の教育実習が始まりました。入学してから1年にわたって学んできたことを実践してみる機会であるとともに、幼稚園の先生になりたいという気持ちを強くさせてくれる機会となるものです。全部で83園に142名の学生が頑張っています。2週目からは、全員の先生方で受け持ちの各園をまわり、実習の様子を見て、園の先生方からの話を伺います。幼稚園は未来の職場、一人一人全力で向き合っていることなのでしょう。先生方は、学生が体調をくずさないように、直前まで準備した教材を使って、研究授業もクリアして、成長して学校に戻ってくるのを待っています。



オープンキャンパスを開催

今年の夏も、6月22日(日)を皮切りに、4回のオープンキャンパスが開催されます。先週は、教育実習を直後に控えた2年生のオープンキャンパス委員たちが、当日披露する手遊びの練習などを行い、来場者の方々を迎える準備を進めました。

教育実習でも、将来の仕事でも、必ず子どもたちに見せ、一緒にすることになる手遊びは、大切な保育技術です。委員たちは、橋爪先生の指導を受けながら、堂々と歌い、指先をうまく使って、動物や食べ物の様子を楽しく表現していました。



自分たちの後輩になるかもしれない高校生たちを迎えるとあって、委員たちのやる気も充分。当日は、笑顔で皆様のお越しをお待ちしています。

自分たちの後輩になるかもしれない高校生たちを迎えるとあって、委員たちのやる気も充分。当日は、笑顔で皆様のお越しをお待ちしています。

浅井先生が表彰されました

浅井潔教授が興誠学園から、永年勤続表彰を受けられました。

浅井先生はハマタンに1970年に着任されてから現在まで本学にてたくさんの学生を見守ってきました。今後も先生はハマタンで教鞭をとられていきます。



水野先生(ひくま幼稚園園長)による特別講義

6月の教育実習を直前に控え、水野先生に教育実習の心構えについてお話をいただきました。

水野先生には、子どもと接するときの実習生の姿勢やこれから幼稚園や保育所に就職を目指す学生に必要な資質能力について、ご自身の経験を踏まえわかりやすく説明していただきました。受講した学生は、保育者という仕事の魅力について、改めて

実感をしているようでした。

受講した学生は、「子どもが話を聞いてくれないのは、自分の話し方が悪い」という水野先生の言葉が心に響きました。前回の実習では、このようなことを経験しました。大人にとっては当たり前になることでも、子どもにとっては理解できないことがたくさんあることがわかりました。」と話していました。

入学前「サポートプログラム」で「ピアノレッスン」

本学では、入学前のサポートプログラムとして、入門・基礎コースの方を対象にピアノにふれて楽しんでいただくピアノレッスンを行っています。これは、入学までの時間を有意義に過ごしていただくためと、2年間という限られた時間で、保育者に求



められる音楽的基礎技能を出来るだけ高め、将来の道を歩んでいただきたいという願いがこめられています。3回の実施スケジュールで、第1回目が、2月9日(日)、96名の皆さんが、3つのコースに分かれて6人の先生から個人レッスンを受けました。入門コースは、グループレッスンも行いました。皆一生懸命ピアノの基礎を身につけました。

家康くん来校



ゆるキャラグランプリへの投票を呼びかけに「出世大名家康くん」がハマタンに遊びにきてくれました。

2013年ゆるキャラグランプリ全国2位になった人気のゆるキャラです。お昼休みの学生食堂への来場では大撮影会となりました。

本当はもっと投票の願いをしたかっただろうにすっかり学生のペースにはまってしまった家康くん一行でした。

就職講座「就職活動体験を聞こう！」

1年生対象の「就職活動体験報告会」が開かれました。この報告会では、就職活動を行って内定を獲得した2年生の5人が、自分自身の就職活動の体験を1年生に向けて発表しました。

2年生は、自分の進路をどのように決めていったか、内定を頂くまでにどのようなことに取り組んできたかなどを、体験談として話してくれました。

1年生にとって、2年生から直接、「生の声」を聞く貴重な時間でした。聞いている1年生は、真剣に聞き、また熱心にメモを取っていました。この日は、数名の1年生から質問が出るなど積極的な姿勢が見られました。来年度の就職活動に向けて、徐々にエンジンがかかっていくと思います。

はまたんの就職率は100%です。ほぼ全員が幼稚園教諭・保育士として、社会で活躍しています。



近況は、HPのキャンパスニュースや広報誌(バックナンバー)で見ることができます。

大学・短期大学部のイベント案内

浜松学院大学・浜松学院大学短期大学部 大学祭

共創祭

平成26年11月15日(土)・16日(日) 於：布橋キャンパス

浜松学院大学の大学祭は「共創祭」といいます。

「共創」とは人と人とのつながりや出会いから生まれる新しい創造力。共創祭は本学の学生だけのイベントではなく、他大学、高校、地域の方と共に創り、参加し、楽しむ大学祭なのです。同窓会も毎年模擬店を出店し、共創祭を盛り上げています。

主な催し物

- ・展示 DiCoRes ミュージアム
(子どもコミュニケーション学科企画・子ども向イベント)
地域交通サークル(鉄道研究)、創造サークル
陶芸作品展示・即売
- ・演舞 よさこいサークル遠州舞遊連、演劇サークル、エイサー 等
- ・模擬店 同窓会も出店予定
- ・受験希望者を対象とした「入試個別相談会」(共創祭開催時間中、随時応じます)
同窓生の方のご来場をお待ちしております。



浜松学院大学短期大学部

子どもフェスティバル

『大きくなったら何になる?』

平成26年11月9日(日) 10:00～

於：浜松学院大学短期大学部

学んだ成果を地域の子どもたちに発信する学生主体の交流イベントです。毎年秋、地域の子どもたちをキャンパスに招待して開催します。

今年度のテーマは「夢」。企画から準備、運営まで学生が主体となって取り組みます。手作り感あふれるハートフルな演出はみなさまに大好評です！



表現活動研究発表会

平成27年1月17日(土) 13:00～(開場) 13:30～(開演)

於：Uホール(浜松市勤労会館)

本年度、「表現活動研究発表会」は28回目を迎えます。

これは、幼児教育科の表現系ゼミナールが卒業研究の一端を発表するものとして、毎年開催されているものです。



掛川支部 活動報告

掛川支部の役員を改選します

掛川エリアの同窓生相互の交流と親睦を深めるとともに、情報交換や連携協力を緊密に行い、浜松学院大学・浜松学院大学短期大学部の発展と振興に貢献することを目的として設立した掛川支部。この度役員を改選をいたしました。

今後の更なる発展のために皆様のご支援を賜りますようお願いいたします。

掛川支部長 鈴木 洋 司
副支部長 久保田 まさえ
副支部長 萩田 千鶴子
会計 増田 芳弘

講演会を行いました。

平成26年6月7日(土)に、袋井の愛野こども園のホールを会場に講演会を行いました。

講師は、浜松葬儀株式会社代表取締役の串 美代子様。テーマは「まごころのこもった葬祭マナー」です。何かと気を遣うことも多い葬祭マナーですが、なかなか人には聞きにくいもの。この日は、わかりやすく講演をして下さり、参加者は興味深く聞くことが出来ました。

講演終了後、愛野こども園の見学もさせて頂きました。



大学オリジナルの実践力育成プログラム DiCoRes プログラム

経済産業省が選定する「社会人基礎力を育成する授業30選」に選ばれました

DiCoRes プログラムは、社会人基礎力（前に踏み出す力、考え抜く力、チームで働く力）を養成しつつ、学生の実践力を継続的、体系的に養うために、カリキュラムの中心に据えて展開するオリジナルの実践力育成プログラムです。

※「DiCoRes プログラム」は本学の登録商標です。



メッセージ

現代コミュニケーション学部 学部長 石田 勝義 教授

現代コミュニケーション学部では、保育、幼児教育、初等教育、特別支援教育、マネジメント、心理における専門的実務能力＝「能く生きる」と人間教育に基づいた共生協調能力「善く生きる」を重視した教育課程を編成しています。一人ひとりの学びを深めるために、学生が授業などで得た知識や経験を実務的体験と結びつけることによって、自己の学びが深められる能動的な学習（アクティブラーニング）を中核に据えています。この学習は、本学独自の「DiCoResプログラム」を活かし、社会人基礎力を高次元で育成することを目指しています。

〔同窓会役員名簿〕

〔会 長〕

大村 弘 司 (商Ⅱ 1回)

〔副会長〕

鈴木 洋 司 (商Ⅰ 18回)

伊 藤 安 男 (商Ⅰ 21回)

永 田 雅 大 (商Ⅱ 30回)

川 島 多 賀 子 (幼Ⅰ 3回)

山 本 陽 子 (幼Ⅰ 8回)

元 井 和 久 (現Ⅱ 2回)

〔常任理事〕

曾 布 川 初 市 (商Ⅰ 1回)

鈴 木 僕 稔 (商Ⅰ 3回)

坂 田 繁 (商Ⅰ 17回)

島 田 隆 (商Ⅰ 22回)

堀 内 陽 吉 (商Ⅰ 26回)

三 沢 芳 弘 (商Ⅰ 27回)

野 澤 貴 士 (商Ⅰ 28回)

天 野 弘 美 (商Ⅰ 34回)

宮 地 暘 (商Ⅱ 1回)

永 田 敏 夫 (商Ⅱ 10回)

加 茂 さ よ 子 (商Ⅱ 28回)

中 村 さ ち 子 (幼Ⅰ 2回)

伊 藤 道 子 (幼Ⅰ 5回)

菊 地 美 香 (幼Ⅰ 25回)

渡 辺 亜 希 (幼Ⅰ 26回)

青 山 ひ ろ 子 (幼Ⅱ 5回)

大 高 恵 美 子 (幼Ⅱ 26回)

〔理 事〕

加 藤 正 夫 (商Ⅰ 4回)

日 山 泰 秀 (商Ⅰ 5回)

大 石 睦 子 (商Ⅰ 6回)

氏 原 道 雄 (商Ⅰ 13回)

石 津 佐 一 郎 (商Ⅰ 14回)

藤 田 成 孝 (商Ⅰ 16回)

横 井 茂 (商Ⅰ 18回)

水 野 等 (商Ⅰ 20回)

大 石 高 秀 (商Ⅰ 24回)

増 田 芳 弘 (商Ⅰ 27回)

高 橋 良 正 (商Ⅰ 29回)

和 久 田 政 子 (商Ⅰ 31回)

鈴 木 一 吉 (商Ⅰ 35回)

藤 井 利 和 (商Ⅰ 38回)

小 松 征 夫 (商Ⅱ 2回)

鈴 木 勝 勝 (商Ⅱ 4回)

坪 井 勝 俊 (商Ⅱ 4回)

野 末 和 男 (商Ⅱ 6回)

袴 田 進 (商Ⅱ 6回)

平 野 由 久 (商Ⅱ 6回)

加 藤 憲 於 (商Ⅱ 13回)

渡 辺 修 (商Ⅱ 31回)

富 永 正 子 (幼Ⅰ 17回)

宮 下 明 菜 (幼Ⅰ 40回)

河 野 愛 (幼Ⅰ 41回)

平 野 千 晶 (幼Ⅰ 43回)

中 島 穂 奈 美 (幼Ⅰ 44回)

谷 元 美 和 子 (幼Ⅰ 45回)

酒 井 侑 季 奈 (幼Ⅰ 46回)

太 田 佐 登 子 (幼Ⅱ 15回)

小 澤 仁 (現Ⅱ 1回)

近 藤 伊 代 (現Ⅱ 3回)

森 山 達 也 (現Ⅱ 4回)

森 山 千 裕 (現Ⅱ 4回)

杉 浦 未 来 (現Ⅱ 5回)

宮 本 薫 (現Ⅱ 5回)

和 久 田 友 之 (地Ⅰ 1回)

森 龍 馬 (地Ⅱ 2回)

建 部 光 由 (子Ⅱ 1回)

馬 渕 文 香 (子Ⅱ 1回)

押 木 留 奈 (子Ⅱ 2回)

熊 切 祐 子 (子Ⅱ 2回)

宮 分 亜 久 理 (子Ⅱ 3回)

横 原 佑 太 (子Ⅱ 3回)

佐 山 竜 一 (子Ⅱ 4回)

〔監 事〕

神 谷 寿 俊 (商Ⅰ 1回)

早 田 利 之 (商Ⅰ 12回)

〔顧 問〕

花 井 達 藏 (商Ⅰ 7回)

高 林 勇 式 (商Ⅱ 1回)

吉 川 彰 (商Ⅱ 4回)

〔特別顧問〕

氏 原 章 博 (商Ⅰ 13回)

岡 本 護 (商Ⅱ 4回)

〔掛川支部長〕

鈴 木 洋 司 (商Ⅰ 18回)

〔掛川副支部長〕

久 保 田 ま さ え (幼Ⅰ 5回)

萩 田 千 鶴 子 (幼Ⅰ 5回)

〔掛川会計〕

増 田 芳 弘 (商Ⅰ 27回)

同窓会活動の紹介

本同窓会は、会員の親睦や連携を図るとともに、母校の発展に寄与することを目的として活動しております。

年1回の総会・懇親会の開催、会報「同窓会だより」の発行、5年に1度の会員名簿の発行、ホームページの開設などにより、会員相互の親睦を図ることはもとより、奨学金事業をはじめ、学園祭への模擬店参加や寄付、卒業生に対する証書ファイルの寄贈、卒業パーティへの補助、卒業した年に開催する総会・懇親会への無料招待など、在学生に対する支援活動も行っております。

また、入学式や卒業式など、大学の主な行事へは、会長をはじめとする役員が出席し祝詞を述べる機会をいただいておりますが、卒業式の終了後には、同窓会への入会式を行い、会長から卒業生に対して、同窓会への入会を歓迎し、また今後の活動への協力をお願いしております。

このような同窓会の様々な活動が、より充実して進められるよう、次の3つの委員会を設置しました。

企画委員会

企画委員会は、総会・懇親会、その他の事業の企画、立案や運営を担当す

る委員会です。

現在、委員長、副委員長、委員の9名で組織され、昨年から今年の同窓会総会の企画を、検討してきました。懇親会での抽選会（全員に景品が当たるビンゴゲーム）など、会員相互の親睦を図るとともに、総会に来てよかったと思っただけの内容を企画しております。

今後も、同窓会の活動をより多くの卒業生に理解していただき、同窓会総会に多くの卒業生が出席し、多くの人達が交流を持ち、みんなで母校を盛り上げていく、そんな企画立案をし、大学の発展につながる委員会を目指していきます。

会員組織委員会

会員組織委員会は、同窓会会員に関する問題や、同窓会組織や会則に関する問題について検討し、提案、改善を行うことを目的とした委員会です。

役割としては、組織、会則の見直しや、会員名簿の発行に関する事で、この委員会制度の導入についても提案し、同窓会会則に盛り込みました。また、我が母校の発展に寄与するために、卒業生同士が親睦を深め、卒業生と学生、教職員の交流を図る場である同窓会総会に多数参加していただくよう、理事不在の卒業年から、理事の選出をお願いしております。そのほか、5年

に一度の会員名簿の発行業務を担当しております。

広報委員会

広報委員会は、同窓会の活動を広く会員の皆様にお知らせすることを目的とした委員会です。具体的な役割としては、年一回発行される会報「同窓会だより」の編集とホームページの運営です。「同窓会だより」発行の時期が近づいて来ると広報委員会の委員が集まり、掲載記事の選定や原稿の準備、紙面レイアウトの検討などを行います。原稿の依頼や確認など大変な仕事ですが、卒業生や大学の様々な情報に触れることができ、楽しみでもあります。

皆様の中で、こんな情報が知りたい、またこれを記事にしてほしい、という要望等がございましたら、直接事務局へ、またはホームページを通じてお聞かせください。お待ちしております。

同窓会として会員の皆様のために、また母校の発展のために何ができるのか、会員の皆様とともに考え、活動を続けていくためには、多くの卒業生が会の運営に参画することが必要です。皆様の同窓会活動へのご支援を引き続きお願いいたします。



同窓会のホームページ

本同窓会の公式サイトを通じて同窓会の活動や、総会の案内などを積極的にお伝えしていこうと思っています。

浜松学院大学同窓会ホームページ

URL <http://www.hgu.ac.jp/dousoukai/>

奨学事業

浜松学院大学同窓会奨学金

本同窓会奨学金は、学業に対する取組みが積極的であり、かつ、経済的な理由により修学困難と認められる学生（入学予定者）に対し奨学金を貸与します。

1. 入学前貸与奨学金（300,000円貸与）
2. 緊急貸与奨学金（月額50,000円／6ヶ月貸与）

浜松学院大学同窓会会則 第1章 総則 (名称) 第1条 この会は、浜松学院大学同窓会という。 (目的) 第2条 この会は、会員相互の親睦を図り、浜松学院大学並びに浜松学院大学短期大学の隆昌発展に寄与することを目的とする。 (事業) 第3条 この会は、前条の目的を達成するため、次の事業を行う。 (1) 会員名簿の発行 (2) 同窓会報の発行 (3) その他、この会の目的を達成するために必要な事業 (本部及び支部) 第4条 この会は、本部を浜松学院大学内に置き、支部を必要な地域に設ける。 第2章 会員及び客員 (会員) 第5条 この会は、次の資格を有するものを会員とする。 (1) 学校法人興誠学園の設置する浜松学院大学並びに浜松学院大学短期大学部及びその前身である浜松短期大学、浜松商科短期大学、興誠学園幼稚園教員養成所(以下「大学等」という。)を卒業、または課程終了したもの。 (2) 前号の大学等に1年以上在学したもので、理事会の承認を得たもの。	(客員) 第6条 この会は、次の資格を有する者を客員とする。 (1) 前条に示す大学等の教職員。 (2) かつ前条に示す大学等の教職員であつたもので、理事会の承認を得たもの。 第3章 役員 (役員の定数) 第7条 この会に、次の役員を置く。 (1) 会長 1名 (2) 副会長 若干名 (3) 理事 各科各部の卒業回数合計数に相当する人員以内とし、各回の同窓生を代表する。 (4) 常任理事 理事合計数の3分の1以内 (5) 監事 2名以上4名以内 (役員の選任) 第8条 役員の選任は、次により行う。 (1) 会長、副会長、及び監事は、理事会の議を経て、選任する。 (2) 常任理事は、理事会において選出する。 (役員の任期) 第9条 (1) 役員の任期は、3年とし、総会を以て終了する。但し、再選を妨げない。なお、補欠のため選任された役員の任期は、前任者の残任期間とする。 (2) 会長に関しては3選を認めない。 (役員の職務) 第10条 役員の職務は、次のとおりとする。 (1) 会長は、この会を代表	し、会務を総理する。 (2) 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるときは、その職務を代理する。 (3) 理事は、理事会を組織し、会務を議決する。 (4) 常任理事は、特に、常任理事会を組織し、理事会の決議事項を執行する。 (5) 監事は少なくとも年1回、この会並びに各支部の財産及び会務執行の状況を監査し、その結果につき理事会に報告し、意見を述べなければならない。 (顧問、及び特別顧問) 第11条 会長は、この会の重要事項を諮問するため、理事会の議を経て顧問、特別顧問を委嘱することができる。但し、任期は第9条を準用する。 (事務局) 第12条 会長は、この会の事務を処理するため、事務局を置く。 第4章 会議 (総会) 第13条 総会は、会員で構成し、理事会の決議事項を報告する。ただし、理事会が認めたときは、開催をとりやめることができる。 (理事会) 第14条 理事会は、会長、副会長、常任理事及び理事をもって組織する。但し、会長が必要に応じて顧問等に出席を依頼することができる。 理事会は、毎年2回以上開き、次の事項を決定する。 (1) 支部の承認	催の広報、会報誌発行、ホームページへの記事掲載と更新 (議事) 第17条 この会の議事は、すべて、出席した会員の3分の2以上の賛否をもって決定する。 第5章 会計 (経費) 第18条 この会の経費は、次の収入をもって充てて。 (1) 会費 (2) 寄附金 (3) その他の収入 (会計年度) 第19条 この会の会計年度は、毎年4月1日から翌年3月31日までとする。 第6章 支部 (支部の結成) 第20条 会員は、理事会の議を経て地域別に支部を結成することができる。但し、支部は、一定の事務所を設け、組織を定めて役員を置かなければならない。 (本部への報告) 第21条 支部は、会員の住所、氏名及び職業並びに支部規則を本部に報告するものとし、その異動があつたときも同様とする。 第7章 補則 (規定にない細目) 第22条 この会則に規定のない細目は、理事会の議を経て会長が決定する。
--	---	--	--

附 則 昭和43年3月10日 制定 (臨時総会) 昭和43年5月3日 一部改正 (第1回通常総会) 昭和44年5月3日 一部改正 (第2回通常総会) 昭和45年5月3日 一部改正 (第3回通常総会) 昭和46年5月16日 一部改正 (第4回通常総会) 昭和59年5月27日 一部改正 (第17回通常総会) 昭和60年8月25日 一部改正 (第18回通常総会) 昭和61年8月24日 一部改正 (第19回通常総会) 平成2年8月19日 一部改正 (第23回通常総会) 平成5年8月1日 一部改正 (第26回通常総会) 平成8年8月11日 一部改正 (第29回通常総会) 平成10年8月29日 一部改正 (第31回通常総会) 平成18年4月8日 一部改正 (通常理事会) 平成20年6月27日 一部改正 (通常理事会) 平成25年6月20日 一部改正 (通常理事会)	浜松学院大学同窓会 掛川支部会則 第1章 総則 第1条 (名称) この会は、浜松学院大学同窓会掛川支部という。 第2条 (目的) この会は、会員相互の親睦を図り、浜松学院大学の隆昌発展に寄与することを目的とする。 第3条 (事業) この会は、前条の目的を達成するために、本部の事業に協調する。 第2章 会員及び客員 第4条 (会員) この会は、次の資格を有する者で掛川市に在住する会員とする。 (1) 学校法人興誠学園の設置する浜松学院大学並びに浜松学院大学短期大学部及びその前身である浜松短期大学、浜松商科短期大学、興誠学園幼稚園教員養成所(以下「大学等」という。)を卒業、または課程終了したもので、前号の大学等に1年以上在学したもので、理事会の承認を得たもの。 第5条 (客員) この会は、次の資格を有する者を客員とする。 (1) 前条に示す大学等の教職員。 (2) かつ前条に示す大学等の教職員であったもので、理事会の承認を得たもの。	第3章 役員 (役員の定数) 第6条 この会に、つぎの役員を置く。 (1) 支部長 1名 (2) 副支部長 若干名 (3) 理事 若干名 (4) 会計 1名 (役員の選任) 第7条 役員の選任は、次により行う。 (1) 支部長、副支部長及び会計は理事会の議を経て選任する。 (役員の任期) 第8条 (1) 役員の任期は、本部役員と同期間とし、再選を妨げない。 但し、補欠のため選任された役員の任期は、前任者の残任期間とする。 (2) 支部長に関しては、3選を認めない。 (役員の職務) 第9条 役員の職務は、次のとおりとする。 (1) 支部長は、この会を代表し、会務を総理する。 (2) 副支部長は、支部長を補佐し、支部長に事故がある時は、その職務を代理する。 (3) 理事は、理事会を組織し、会務を議決する。 (顧問、及び特別顧問) 第10条 支部長は必要に応じて、理事会の議を経て顧問、特別顧問を委嘱することができる。 但し、任期は第8条を準用する。 第4章 会議 (総会) 第11条 総会は、本部総会に参加すること、これに替える。	(理事会) 第12条 理事会は、支部長、副支部長、会計及び理事をもって組織し、年2回以上開催する。 但し、支部長が必要に応じて顧問等に出席を依頼することができる。 (議事) 第13条 この会の議事は、すべて、出席した会員の3分の2以上の賛否をもって決定する。 第5章 会計 (経費) 第14条 この会の経費は、次の収入をもって充てる。 (1) 本部補助金 (2) 寄付金 (3) その他の収入 (会計年度) 第15条 この会の会計年度は、毎年4月1日から翌年3月31日までとする。 (会計監査) 第16条 この会の会計監査は、本部監事の監査を年1回受けるものとする。 (本部への報告) 第17条 支部は、会員の住所、氏名及び職業並びに支部会則を本部に報告するものとし、その異動があったときも同様とする。 第6章 補則 (規定にない細目) 第18条 この会則に規定のない細目は、本部及び理事会の議を経て支部長が決定する。 平成18年4月8日 制定(通常理事会) 平成20年7月25日 一部改正(通常理事会) 附 則	浜松学院大学同窓会 ゴルフ会会則 第1条 本会は浜松学院大学同窓会ゴルフ会(略称浜学同窓会ゴルフ会)と称する。 第2条 本会はゴルフを通じて会員の健康増強と相互の親睦を図ることを目的とする。 第3条 本会は浜松学院大学同窓会員及び興誠学園関係者のゴルフ愛好者をもって組織する。 第4条 本会には会長をおく。 会長は会員より選出する。 本会の会長の任期は2ヶ年とし、再選を妨げない。 第5条 本会は幹事をおく。 幹事は優勝者及びブービー賞者の2名とし、会員各位への連絡事務・会計・次回開催の準備をする。 ブレイ費用は各人の負担とする。 第7条 第8条 会の運営は会員及び同窓会の補助金をもってする。但し会費は参加者よりその都度徴収する。 第9条 ゴルフ競技会は年2回(春・秋)に開催する。 第10条 競技方法はダブルベリア方式とする。但し協議のうえ他の競技方法とすることができる。 第11条 賞は1位より3位迄及び参加賞とする。 但し参加人員が3組以上になった場合には賞の範囲を広げることができる。 同点者ある時は年令・ハンディキャップ順とする。 競技は6名以上の参加をもって成立とする。 但し、ゴルフコースの都合により定員をもうけ、定員になり次第締切ることがある。 附 則 1 この会則は平成4年1月26日から施行する。 平成20年7月25日 一部改正(通常理事会)
--	---	---	---	--

平成25年度 収支決算書

(自平成25.4.1至平成26.3.31)

収入の部			支出の部		
科目	予算額	決算額	科目	予算額	決算額
前年度繰越金	3,011,476	3,011,476	会議費	900,000	708,804
会員会費	3,204,000	3,216,000	懇親会費	300,000	210,000
祝儀	0	30,000	奨学費	600,000	0
預金利息	0	2,200	卒業パーティ助成金	200,000	200,000
奨学金回収	0	300,000	証書ファイル	250,000	217,875
名簿販売	0	0	慶弔費	150,000	135,000
総会剰余金	0	107,849	通信費	150,000	120,060
名簿作成剰余金	0	2,000	消耗品費	70,000	0
			学園祭関係費	160,000	130,000
			印刷費	30,000	6,900
			掛川支部運営費	50,000	50,000
			定期預金組入	0	0
			ホームページ関係費	150,000	105,840
			予備費	3,205,476	0
			次年度繰越金	0	4,785,046
合計	6,215,476	6,669,525	合計	6,215,476	6,669,525

監査の結果、いずれも適正且つ妥当であることを認めます。

平成26年4月17日

浜松学院大学同窓会

会計監査 神谷 壽 俊 (印)
同 早田 利之 (印)

平成26年度 収支予算書

(自平成26.4.1至平成27.3.31)

収入の部			支出の部		
科目	前年度決算額	予算額	科目	前年度決算額	予算額
前年度繰越金	3,011,476	4,785,046	会議費	708,804	900,000
会員会費	3,216,000	3,300,000	懇親会費	210,000	300,000
祝儀	30,000	0	奨学費	0	600,000
預金利息	2,200	0	卒業パーティ助成金	200,000	200,000
奨学金回収	300,000	0	証書ファイル	217,875	250,000
名簿販売	0	0	慶弔費	135,000	350,000
総会剰余金	107,849	0	通信費	120,060	150,000
名簿作成剰余金	2,000	0	消耗品費	0	50,000
			学園祭関係費	130,000	160,000
			印刷費	6,900	30,000
			掛川支部運営費	50,000	50,000
			ホームページ関係費	105,840	150,000
			総会費用	0	1,000,000
			予備費	0	3,895,046
			次年度繰越金	4,785,046	0
合計	6,669,525	8,085,046	合計	6,669,525	8,085,046

※科目間の流用を認めるものとする

財産目録

(平成26年3月31日 現在)

普通預金	浜松信用金庫	7,168,360
	静岡銀行	877,788
	遠州信用金庫	38,898
	小計	8,085,046
	平成26年度入学生会費 (275名分)	△ 3,300,000
	差引残高 (A)	4,785,046
定期預金	浜松信用金庫	(B) 500,000
		(B) 1,000,000
		(B) 1,000,000
		(B) 1,004,567
奨学金貸付金 (2名分)	(C)	224,000
合計	(A+B+C)	8,513,613

上記の通り、収支および財産目録の報告をいたします。

平成26年4月25日

浜松学院大学同窓会

会長 大村 弘 司 (印)
副会長 鈴木 洋 司 (印)
同 川島 多賀子 (印)
同 伊藤 安 男 (印)
同 山本 陽 子 (印)
同 永田 雅 大 (印)
同 元井 和 久 (印)

平成26年度 教員一覧

浜松学院大学

管理職名	職名	氏名	専門分野
学長	教 授	雨 宮 正 一	企業経営、企業広報、広告・プロモーション
現代コミュニケーション学部学部長	教 授	石 田 勝 義	子ども家庭福祉、障がい児教育
子どもコミュニケーション学科学科長	教 授	岩 見 良 憲	特別支援教育
地域共創学科学科長	教 授	津 村 公 博	英語教育学
図書館館長	教 授	籠 幾 緒	経営学
付属愛野こども園園長	教 授	田 嶋 善 郎	精神保健、社会福祉
	教 授	大野木龍太郎	スポーツ社会学・スポーツ教育学・社会教育学（子どもの社会教育論）
	教 授	酒 井 俊 郎	発達教育学・運動生理学
	教 授	戸 田 昭 直	ビジネス実務教育、ライフプランニング、簿記会計教育
	教 授	原 田 年 康	教育実践学
	教 授	藤 田 崇 夫	英語学
	教 授	古 橋 義 彦	教職概論
	准教授	岡 部 康 成	認知心理学・社会心理学
	准教授	川 口 雅 也	アメリカ文学、英語圏大衆文化
	准教授	酒 井 勇 治	国語
	准教授	坂 本 雄 士	教科教育（算数・数学教育）、教育方法学、教育心理学
	准教授	櫻 井 龍 彦	社会学（コミュニケーション史、コミュニケーション文化論、自我論）
	准教授	高 久 新 吾	ピアノ・鍵盤楽器奏法、器楽合奏、音楽教育学
	准教授	名 倉 一 美	保育、障害児保育、保育実践研究
	准教授	土 倉 英 志	社会心理学、認知心理学、質の心理学
	准教授	光安パレシダ光江	国際開発、国際貿易、ブラジル経済、ポルトガル語・
	准教授	若 尾 良 徳	発達心理学、青年心理学、教育心理学、社会心理学
	准教授	渡 部 い づ み	地域経済 産業論 特に浜松地域の地場産業研究
	講 師	荒 井 庸 子	発達心理学
	講 師	池 谷 美 衣 子	教育学、生涯学習・社会教育学
	講 師	石 野 純 子	保育実践 発達支援保育

浜松学院大学短期大学部

管理職名	職名	氏名	専門分野
短期大学部部長	教 授	弘 谷 多 喜 夫	教育史
幼児教育科科長	教 授	山 本 孝 一	教育工学
付属幼稚園園長	教 授	金 子 容 子	英文学・英国口承文芸・英米児童文学
	教 授	浅 井 潔	発達心理学、教育心理学
	教 授	亀 尾 恵 子	音楽・児童文化
	教 授	芳 賀 亜 希 子	乳幼児心理学
	教 授	若 杉 雅 夫	油彩画、石版画、幼児の造形教育
	准教授	加 藤（太町）智	教育学、教科教育学（授業研究、幼小連携、生活科、総合的学習）
	准教授	坂 田 温 志	社会福祉学（障害者福祉、児童家庭福祉）
	准教授	志 村 浩 二	嗜癖行動学、神経心理学
	准教授	永 岡 和 香 子	音楽と動きの教育
	講 師	中 本 富 士 乃	音楽教育、音楽療法
	講 師	橋 爪 け い 子	保育
	講 師	松 澤 俊 行	健康、体育、野外教育

浜松学院大学短期大学部（浜松短期大学）における年次別学科別卒業生数

学科	商 科				幼 児 教 育 科				英語コミュニケーション科 (英語科)		全 体			
	第一部	第二部	合計	累計	第一部	第二部	合計	累計		累計	昼間部	夜間部	合計	累計
昭和28	① 84		84	84							84		84	84
29	② 61		61	145							61		61	145
30	③ 76		76	221							76		76	221
31	④ 74		74	295							74		74	295
32	⑤ 70		70	365							70		70	365
33	⑥ 38		38	403							38		38	403
34	⑦ 25		25	428							25		25	428
35	⑧ 18		18	446							18		18	446
36	⑨ 36		36	482							36		36	482
37	⑩ 29		29	511							29		29	511
38	⑪ 34	① 102	136	647							34	102	136	647
39	⑫ 57	② 92	149	796							57	92	149	796
40	⑬ 78	③ 126	204	1,000							78	126	204	1,000
41	⑭ 64	④ 118	182	1,182							64	118	182	1,182
42	⑮ 67	⑤ 133	200	1,382		① 55	55	55			67	188	255	1,437
43	⑯ 79	⑥ 122	201	1,583	① 16	② 63	79	134			95	185	280	1,717
44	⑰ 75	⑦ 106	181	1,764	① 50	① 77	127	261			125	183	308	2,025
45	⑱ 63	⑧ 112	175	1,939	② 53	② 129	182	443			116	241	357	2,382
46	⑲ 47	⑨ 90	137	2,076	③ 49	③ 124	173	616			96	214	310	2,692
47	⑳ 58	⑩ 96	154	2,230	④ 45	④ 130	175	791			103	226	329	3,021
48	㉑ 72	⑪ 109	181	2,411	⑤ 51	⑤ 129	180	971			123	238	361	3,382
49	㉒ 80	⑫ 90	170	2,581	⑥ 90	⑥ 167	257	1,228			170	257	427	3,809
50	㉓ 101	⑬ 98	199	2,780	⑦ 110	⑦ 188	298	1,526			211	286	497	4,306
51	㉔ 113	⑭ 103	216	2,996	⑧ 111	⑧ 187	298	1,824			224	290	514	4,820
52	㉕ 162	⑮ 136	298	3,294	⑨ 153	⑨ 221	374	2,198			315	357	672	5,492
53	㉖ 163	⑯ 91	254	3,548	⑩ 201	⑩ 154	355	2,553			364	245	609	6,101
54	㉗ 163	⑰ 97	260	3,808	⑪ 226	⑪ 172	398	2,951			389	269	658	6,759
55	㉘ 146	⑱ 79	225	4,033	⑫ 170	⑫ 117	287	3,238			316	196	512	7,271
56	㉙ 148	⑲ 45	193	4,226	⑬ 217	⑬ 73	290	3,528			365	118	483	7,754
57	㉚ 149	㉑ 44	193	4,419	⑭ 206	⑭ 50	256	3,784			355	94	449	8,203
58	㉛ 123	㉒ 42	165	4,584	⑮ 186	⑮ 32	218	4,002			309	74	383	8,586
59	㉜ 142	㉓ 45	187	4,771	⑯ 197	⑯ 29	226	4,228			339	74	413	8,999
60	㉝ 127	㉔ 30	157	4,928	⑰ 167	⑰ 33	200	4,428			294	63	357	9,356
61	㉞ 127	㉕ 23	150	5,078	⑱ 128	⑱ 23	151	4,579			255	46	301	9,657
62	㉟ 82	㉖ 17	99	5,177	⑲ 85	⑲ 22	107	4,686			167	39	206	9,863
63	㊱ 121	㉗ 22	143	5,320	㉑ 134	㉑ 34	168	4,854	① 90	90	345	56	401	10,264
平成1	㊲ 160	㉘ 31	191	5,511	㉒ 131	㉒ 47	178	5,032	② 94	184	385	78	463	10,727
2	㊳ 166	㉙ 37	203	5,714	㉓ 135	㉓ 23	158	5,190	③ 99	283	400	60	460	11,187

学科	商 科				幼 児 教 育 科				英語コミュニケーション科 (英語科)		全 体			
卒業年	第一部	第二部	合計	累計	第一部	第二部	合計	累計		累計	昼間部	夜間部	合計	累計
平成3	㉔ 158	㉔ 39	197	5,911	㉔ 134	㉔ 27	161	5,351	④ 140	423	432	66	498	11,685
4	④ 160	③ 48	208	6,119	㉔ 143	㉔ 31	174	5,525	⑤ 143	566	446	79	525	12,210
5	④ 164	③ 46	210	6,329	㉔ 143	㉔ 32	175	5,700	⑥ 129	695	436	78	514	12,724
6	④ 160	③ 67	227	6,556	㉔ 148	㉔ 51	199	5,899	⑦ 130	825	438	118	556	13,280
7	④ 159	③ 56	215	6,771	㉔ 148	㉔ 47	195	6,094	⑧ 120	945	427	103	530	13,810
8	④ 153	③ 59	212	6,983	㉔ 152	㉔ 50	202	6,296	⑨ 116	1,061	421	109	530	14,340
9	④ 152	③ 33	185	7,168	㉔ 141	㉔ 50	191	6,487	⑩ 99	1,160	392	83	475	14,815
10	④ 133	③ 34	167	7,335	㉔ 141	㉔ 46	187	6,674	⑪ 94	1,254	368	80	448	15,263
11	④ 120	③ 11	131	7,466	㉔ 137	㉔ 43	180	6,854	⑫ 95	1,349	352	54	406	15,669
12	④ 131	③ 20	151	7,617	㉔ 140	㉔ 34	174	7,028	⑬ 87	1,436	358	54	412	16,081
13	④ 119	③ 11	130	7,747	㉔ 139	㉔ 39	178	7,206	⑭ 67	1,503	325	50	375	16,456
14	⑤ 119	④ 13	132	7,879	㉔ 145	㉔ 32	177	7,383	⑮ 65	1,568	329	45	374	16,830
15	⑤ 99	④ 6	105	7,984	㉔ 132	㉔ 43	175	7,558	⑯ 46	1,614	277	49	326	17,156
16	⑤ 94	—	94	8,078	㉔ 129	㉔ 49	178	7,736	⑰ 61	1,675	284	49	333	17,489
17	⑤ 69	—	69	8,147	㉔ 127	㉔ 41	168	7,904	⑱ 45	1,720	241	41	282	17,771
18	—	—	—	8,147	㉔ 143	㉔ 47	190	8,094	—	1,720	143	47	190	17,961
19	—	—	—	8,147	㉔ 137	㉔ 27	164	8,258	—	1,720	137	27	164	18,125
20	—	—	—	8,147	④ 145	—	145	8,403	—	1,720	145	—	145	18,270
21	—	—	—	8,147	④ 146	—	146	8,549	—	1,720	146	—	146	18,416
22	—	—	—	8,147	④ 129	—	129	8,678	—	1,720	129	—	129	18,545
23	—	—	—	8,147	④ 127	—	127	8,805	—	1,720	127	—	127	18,672
24	—	—	—	8,147	④ 154	—	154	8,959	—	1,720	154	—	154	18,826
25	—	—	—	8,147	④ 146	—	146	9,105	—	1,720	146	—	146	18,972
26	—	—	—	8,147	④ 153	—	153	9,258	—	1,720	153	—	153	19,125
合計	5,468	2,679	8,147		6,290	2,968	9,258		1,720		13,478	5,647	19,125	

※ 幼児教育科のうち、昭和41年度、42年度はその前身である興誠学園幼稚園教員養成所

浜松学院大学における年次別卒業生数

学科	現代コミュニケーション学部 現代コミュニケーション学科		現代コミュニケーション学部 子どもコミュニケーション学科		地域共創学科		全体	
卒業年	卒業生数	累計	卒業生数	累計	卒業生数	累計	合計	累計
平成20	① 169	169					169	169
21	② 105	274					105	274
22	③ 102	376					102	376
23	④ 64	440	① 42	42			106	482
24	⑤ 39	479	② 44	86			83	565
25			③ 38	124	① 41	41	79	644
26			④ 44	168	② 38	79	82	726
合計	479		168		79		726	

浜松学院大学短期大学部（旧浜松短期大学）を卒業された皆さんへ 幼児教育科（第一部、第二部）

教員免許状更新講習について（お知らせ）

本学（大学と短期大学の共催）で教員免許状更新講習を開催して今年度で6年目となります。

本学で幼稚園教諭の免許状を取得され、現職で幼稚園に勤務されている方は文部科学省が定める最初の修了期限までに、2年以内に大学等が開設する30時間以上の免許状更新講習の課程を修了し、教育委員会に申請することにより、更新講習修了確認を受けることが必要です。（過去に幼稚園に勤務されていた方も講習を受けることができます。）

来年度の講習の実施については未定ですが、来年1月以降に本学ホームページ（<http://www.hgu.ac.jp>）等を通してご案内いたします。

免許状更新講習について、是非、母校である本学（浜松学院大学短期大学部）で受講されることをお勧めします！

教諭免許状又は養護教諭免許状を所持する教育職員等（栄養教諭を除く。）

	生年月日	最初の修了確認期限	免許状更新講習の受講期間	次回の修了確認期限
①	昭和30年4月2日～昭和31年4月1日 昭和40年4月2日～昭和41年4月1日 昭和50年4月2日～昭和51年4月1日	平成23年3月31日	平成21年4月1日～平成23年1月31日	平成33年3月31日
②	昭和31年4月2日～昭和32年4月1日 昭和41年4月2日～昭和42年4月1日 昭和51年4月2日～昭和52年4月1日	平成24年3月31日	平成22年2月1日～平成24年1月31日	平成34年3月31日
③	昭和32年4月2日～昭和33年4月1日 昭和42年4月2日～昭和43年4月1日 昭和52年4月2日～昭和53年4月1日	平成25年3月31日	平成23年2月1日～平成25年1月31日	平成35年3月31日
④	昭和33年4月2日～昭和34年4月1日 昭和43年4月2日～昭和44年4月1日 昭和53年4月2日～昭和54年4月1日	平成26年3月31日	平成24年2月1日～平成26年1月31日	平成36年3月31日
⑤	昭和34年4月2日～昭和35年4月1日 昭和44年4月2日～昭和45年4月1日 昭和54年4月2日～昭和55年4月1日	平成27年3月31日	平成25年2月1日～平成27年1月31日	平成37年3月31日
⑥	昭和35年4月2日～昭和36年4月1日 昭和45年4月2日～昭和46年4月1日 昭和55年4月2日～昭和56年4月1日	平成28年3月31日	平成26年2月1日～平成28年1月31日	平成38年3月31日
⑦	昭和36年4月2日～昭和37年4月1日 昭和46年4月2日～昭和47年4月1日 昭和56年4月2日～昭和57年4月1日	平成29年3月31日	平成27年2月1日～平成29年1月31日	平成39年3月31日
⑧	昭和37年4月2日～昭和38年4月1日 昭和47年4月2日～昭和48年4月1日 昭和57年4月2日～昭和58年4月1日	平成30年3月31日	平成28年2月1日～平成30年1月31日	平成40年3月31日
⑨	昭和38年4月2日～昭和39年4月1日 昭和48年4月2日～昭和49年4月1日 昭和58年4月2日～昭和59年4月1日	平成31年3月31日	平成29年2月1日～平成31年1月31日	平成41年3月31日
⑩	昭和39年4月2日～昭和40年4月1日 昭和49年4月2日～昭和50年4月1日 昭和59年4月2日～	平成32年3月31日	平成30年2月1日～平成32年1月31日	平成42年3月31日

なお、免許更新制について詳細は文部科学省のホームページをご参照下さい。（<http://www.mext.go.jp/>）
本学にお問合せ頂いても結構です。

浜松学院大学 教務課 053-450-7000
浜松学院大学短期大学部 教務課 053-473-6100

社員研修は私たちにお任せください。

地元浜松で優良な研修を提供する 株式会社 エスエスブ레인

〒430-0901 静岡県浜松市中区曳馬 6-25-36

TEL:053-474-3178 FAX:053-474-6855

E-mail: ss-brain@ss-brain.com http://www.123ssb.jp/

YAKINIKU CUISINE



浜松市中区住吉1-4-16 ☎ 053-474-7427



かりり

代表 河守恭一 (高28回卒)

〒432-8045 静岡県浜松市中区西浅田1-10-8
TEL (053) 442-1200 FAX (053) 442-6768

各種新車・中古車販売

車検・点検・修理・板金・塗装
あいおいニッセイ同和損害保険㈱代理店
中部陸運局認証工場



(株)佐上商會

浜松市東区丸塚町94-1

TEL (053) 464-8158 (代)
FAX (053) 464-2272

株式会社 アドットワークス

Adot Works



各種印刷・WEB制作・学術集会等の設置運営

email: info@adotworks.com phone: 053-479-0047 fax: 053-533-3115

浜松学院大学 かもすぐさこ！ 送迎2分！



税理士・行政書士・宅地建物取引主任

近藤良夫

〒432-8015 浜松市中区高町205-11

電話 (053) 453-8707

FAX (053) 453-9350

学校用黒板、事務所用黒板、ホワイトボード
各種掲示板、看板

有限会社 不二黒板製作所

〒430-0904 浜松市中区中沢町21番地9号
TEL (053) 471-9010・FAX (053) 472-2493

萬屋蒔蒔店

こんにゃく・ところ天 製造・卸

浜松市中区天神町5-12 TEL 053-461-1588

463-1572

FAX 053-489-9303

(株)西遠蒔蒔

卸・浜松中央卸売市場

浜松市南区新貝町239-1 TEL/FAX 053-427-7506

税務・経営のスペシャリスト

企業と働く人との架け橋

税理士法人

東海浜松会計事務所

会長 内山隆司
代表社員 竹内一登
浜松市中区元城町113-15
TEL 053-455-2181

社会保険労務士法人

浜松労務管理事務所

会長 内山隆司
所長 山崎恵子
浜松市中区元城町113-15
TEL 053-455-1003

静岡県知事免許(13)第2180号

宇野不動産株式会社

〒432-8023 浜松市中区鶴江四丁目2番17号

TEL 053-454-0711 (代表) FAX 053-455-2345

URL http://www.uno-re.com/

E-mail info@uno-re.com

普通・二輪免許を取るなら



遠鉄自動車学校

浜松市東区小池町1552 053-462-1221

RICOH・NEC・SHARP・AMANO
事務器・事務用品・スチール家具

有限会社 森 文

浜松市中区向宿3丁目9-4

TEL<053>461-1243 FAX<053>461-7248



CROSSDEVICE
株式会社 クロスデバイス

各種販促ツール

Webコンテンツの企画・制作

TEL:053-478-3388 FAX:053-478-3311

URL: <http://www.crossdevice.co.jp>

祭り衣裳

江戸川染



氏原株式会社

浜松市東区神立町131-7 TEL 053-464-1234
E-mail omatsuri_ouendan@ujihara.co.jp

建築 土木
MARUISHI ITO

県知事許可 第9912号

代表取締役 伊藤 正 康

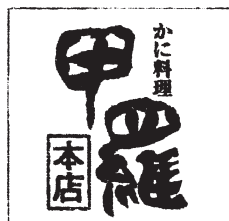
有限会社 丸石伊藤建設

〒435-0006 浜松市東区下石田町1782

TEL (053) 421-2686

FAX (053) 421-2753

E-mail: maruishi-ito@po4.across.or.jp



かに料理

浜松甲羅本店

〒432-8023

浜松市中区鴨江2-49-20

TEL 053-456-0051



日曜・祝日も営業

美しさで真心をお届けします

ご法事・お祝い・ご会合・ご接待・行楽などに...

幕の内弁当 仕出し料理 折詰弁当

オードブル 洋食弁当 日替りお弁当

出前弁当専門店

お弁当一個より迅速に配達致します

浜松市中区蛸塚3丁目8-39(蛸塚中学校前)

☎ 053-453-8233 電話でのご予約は24時間承ります。

<http://nttbj.itp.ne.jp/0534538233/>



呉竹荘

〒432-8036

静岡県浜松市中区東伊場1-1-26

TEL 053-453-1511

FAX 053-456-0897

快適な生活と美しい自然環境と一緒に。

Save The Earth



浜名環保株式会社

HAMANA KANPO CO., LTD.

国際規格 ISO14001

登録企業

JAER0599

〒431-0444 静岡県浜松市坊間255-2

TEL(053)573-1102 FAX(053)579-3689

E-mail: hkanpo@clea-bldg.co.jp



浜松学院大学・浜松学院大学短期大学部

学生総合保険 取扱代理店

株式会社 エマ

浜松市中区元目町129-10オーリットビル2F

TEL<053>474-8200(代) FAX<053>474-8231

URL: <http://www.ema-hoken.com>



=== 地域社会に貢献する ===

視聴覚・情報通信・セキュリティ

電通システム株式会社

〒430-0853 浜松市南区三島町104-1

TEL 053-441-3911 FAX 053-441-7515

<http://www.dslab.co.jp>



HUMAN
AVCC
SYSTEM
COMMUNICATION

藤野建設株式会社

〒431-1115 静岡県浜松市西区和地町6320

TEL<053>486-0239 FAX<053>486-3574

URL: <http://www.fujinokensetsu.co.jp>

Print&Creation 広告する。

封筒や名刺などのビジネスツールから、チラシやDM、会社案内、カタログなどの印刷物をコーディネート。

貴重な経験と知識を基に、デザインから印刷までお手伝いいたします。

またWebサイトやECサイトの企画・制作もトータルでサポートいたします。



- ◆各種印刷
- ◆デザイン構築
- ◆webサイト構築

有限会社 アイエヌジー

〒432-8056 浜松市南区米津町1180

TEL.053-441-5839 FAX.053-441-5839



090-5859-3336

E-mail/ ing@joy.ocn.ne.jp

URL/www.ing-ok.com

栄電気工業株式会社

〒430-0947 浜松市中区松城町200番地の6(美術館前)
電話<053>454-8371(代) FAX<053>452-9351

伸名産研 株式会社

理化学機器、消防、給排水、設備施工管理

局所排気(環境改善)、空調(省エネ)、冷熱・冷温、

〒435-0047 静岡県浜松市東区原島町204番地 tel 053-464-4014



建築設計、監理



株式会社 ニキ計画工房

浜松市中区曳馬五丁目24-50

TEL (053) 474-7640

FAX (053) 475-2175

代表取締役 小 木 一 夫

建築物・建造物の白アリ害虫駆除・清掃管理・清掃用品販売

株式会社サンワールド社

代表取締役 足 立 清 二 (商I部21回卒)

浜松市南区下江町571番地の2

TEL<053>426-1121 FAX<053>426-2178

躍進するNIKKOグループ

情報通信・セキュリティ・地上波デジタル・太陽光発電・映像音響・消防設備・電気工事

日興電気通信株式会社

ソリューション・PC・LAN・セキュリティ浜松

ニッコウプロセス株式会社

本社 浜松市北区大原町11番地 TEL053-439-1125(代) FAX053-439-1135

携帯電話・事務機器・パソコン教室

ヤマサン商会

浜松市浜北区本沢合1069 TEL053-586-4133 FAX053-586-4380

パソコン特価で販売します。インターネット接続まで親切指導致します。



株式会社 ソフトウェアプロダクツ

〒435-0031 浜松市東区長鶴町158-1

TEL (053) 461-1711

URL <http://www.spc-si.co.jp>



NPO
法人

雲を耕す会

天竜美林を再生し自然と環境を守る

〒433-8105 浜松市北区三方原町447-23

TEL & FAX 053-436-5221



山崎 靖子

〒430-0907
浜松市中区高林5-9-5
TEL 473-2999
携帯 090-2578-1532

かんぱん

有限会社
キヨシ看板店

TEL 461-1945
www.kiyoshi.jp



D-HEARTS

D-HEARTS・PLE葉WALK浜北店
〒434-8502 静岡県浜松市浜北区貴布祿1200番地PLE葉WALK浜北114 tel・fax 053-585-7114

D-HEARTS・ららぽーと磐田店
〒438-0801 静岡県磐田市高見丘1200 ららぽーと磐田店 1F tel・fax 0538-38-4095

D-HEARTS・イオン浜松市野店
〒435-0052 静岡県浜松市東区天王町1981-3 2F tel・fax 053-443-8918

免許のことなら



公認

静岡県
D.School

セイブ自動車学校

〒431-1112 静岡県浜松市西区大人見町2510番地
TEL.053-485-5511(代) FAX.053-485-2500
URL: <http://www.kenseibu.co.jp>

創業 慶応3年
元祖 手焼煎餅

喜楽堂本舗

貴社のオリジナル煎餅を作成いたします。
口ゴ等を煎餅にしてみませんか? (焼印での対応)

〒430-0903 浜松市中区助信町20-33
TEL 053-471-7758 FAX 053-471-7772

ISO 9001 : 2000



丸明建設株式会社

代表取締役 井谷 安秀

袋井市高尾町6番地の21 TEL (0538) 43-2221 FAX (0538) 43-2226
URL <http://www.marumei.co.jp/>



静岡県公安委員会指定
三方原自動車学校

URL <http://www.mikatahara-ds.co.jp/>
TEL 053-436-2067

浜松市北区初生町711

詳しい情報は、こちら

小籠包のうまい店
中国料理

華 都

・ ・ 食べに来て ・ ・

浜松市中区住吉3-12-1 TEL 4-74-0132

Pipe & Fitting 水道・空調配管材料
Bronze Aluminum etc. 非鉄金属

&&& 専門問屋 &&&

To the future Since 1927

分 (株) 林角本店

<http://www.hayashikaku.co.jp>

杉山メディアサポートは、お客様の笑顔をゴールに!
情報保護から、環境に配慮した印刷・販売促進で、お客様をサポートします。



Sugiyama Media Support Co., Ltd.

杉山メディアサポート株式会社

<http://www.sugiyama-ms.co.jp/>

本社営業本部 〒435-0046 静岡県浜松市東区丸塚町196-1
TEL 053-467-6000 FAX 053-467-6006

SPiC Salonは美と癒しと健康の「和」を楽しんで頂くサロンです。

SPiC Salon

スピックサロン 浜松西店

電話予約優先 浜松市西区雄踏町宇布見5147-1
☎ 053-596-0103 ☎ 0120-160103

陶芸窯を造って55年
窯・熱電対の修理いたします!
陶芸用品・銀粘土材料の専門店
体験教室・主張教室実施中

あい工房株式会社 浜松ヒートテック内
浜松市北区新都田1-9-8 TEL 053-428-6181
<http://www.ai-kohboh.co.jp/>



Nail salon Nagi

- ネイルケア (45分) ¥3,000~
- カラーリング (30分) ¥1,500~
- ジェル (手足同一料金) ¥4,000~
- アート (1本) ¥ 200~ (+消費税)

【営業時間】

平日 9:00~19:30
日祝祭日 9:00~17:30

TEL&FAX

053-458-9229 (予約優先)

浜松市中区砂山町324-10
福ビル3F(1Fモスバーガー)



浜名湖名産・夜のお菓子

うなぎパイ

お客様係 ☎0120-210481 ホームページも
ご覧ください 春華堂 検索

地域の式場

お通夜から、ご葬儀まで…

浜松葬儀では、経験豊富な「厚生労働省認定資格取得/葬祭ディレクター」が、責任を持ってお世話致します。

お通夜・ご葬儀から法要まで、利便性に富んだ11の会場から、お選びいただけます。

はまそう会館 天上界
北区東三方町
☎053-437-1231

はまそう会館 高丘
中区高丘北
☎053-420-4444

はまそう会館 浜松南
中区向宿
☎053-411-4444

はまそう会館 曳馬
中区曳馬
☎053-476-4444

はまそう会館 篠ヶ瀬
東区篠ヶ瀬町
☎053-423-4444

はまそう会館 半田山
東区半田山
☎053-439-0964

はまそう会館 森田
中区森田町
☎053-451-4444

はまそう会館 志都呂
西区志都呂
☎053-448-4444

はまそう会館 志都呂東
西区志都呂
☎053-445-4444

はまそう会館 細江
北区細江町
☎053-522-4444

はまそう会館 引佐
北区引佐町
☎053-542-4444



浜松葬儀株式会社

浜松市北区東三方町76
URL: <http://www.hama-so.co.jp>

TEL(053)437-1231

「あんなコトからこんなコトまで」

私たちはお客様の期待に応えるプロフェッショナルです。まずはご相談を。

「そうだ、桐屋に聞こう。」

【取り扱い品目】

一般伝票・連続伝票・OCR・会社案内・チラシ・カタログ・パンフレット・ポスター・取扱説明書
DM・封筒・社内報・オンデマンド印刷・シール・ステッカー・ナイロン・ファイル・のぼり・看板・布印刷・シルク印刷
新聞広告・雑誌広告・ホームページ制作・運営・ラジオCM・CD制作・DVD制作・POP・ロゴ・パッケージ・広告の立案・制作・デザイン

桐屋印刷株式会社

〒432-8056 静岡県浜松市南区米津町1181
TEL. 053-441-4526 (代) FAX. 053-441-7809
URL <http://www.kiriya.co.jp>



浜松学院大学教育後援会からのお知らせ

平成16年4月の浜松学院大学の開学に合わせて、「浜松学院大学・浜松学院大学短期大学部 教育後援会」が発足し、同窓会員のみなさまから多くの会費、寄付金を頂戴いたしました。その資金は、開学の際に必要な設備購入のために使用され、備品として大学に寄付させていただいております。

その後、教育環境整備のための支援を主な目的として、同窓会員を正会員とする後援会組織と、在学生に対する教育支援を目的とする保護者会組織を分けることになり、この機会をお借りして卒業生のみなさまにご報告させていただく次第です。

本会は、浜松学院大学の教育方針に則り、教育活動及び教育環境の整備をもって大学の教育成果の向上に寄与することを目的とし、その目的を達成するために次の事業を行ってまいります。

- (1) 教育に関する研究調査
- (2) 学生教育の振興に関する事業
- (3) 本大学の地域社会貢献に関する事業
- (4) その他必要と認めた事業

また、本会は次の会員をもって組織し、会費の納入をもって会員とします。

- (1) 正会員 本大学の卒業生（同窓会員と認められた者）
- (2) 準会員 興誠学園の役員
- (3) 特別会員 大学に勤務する教職員
- (4) 賛助会員 本会の趣旨に賛同する者
- (5) 協力会員 本大学に在籍する学生の保護者

同窓会員のみなさまには、是非とも母校発展のため、教育後援会会員としてご支援を賜りたく、何卒よろしくお願い申し上げます。

浜松学院大学教育後援会 会長 吉川 彰

※ 事務局からのお願い

※ 上記の趣旨に賛同していただける方は、郵便振替払込書にて会費の納入をお願いしております。

- ・ 会費 1口 5,000円（できるだけ2口以上の納入をお願いいたします。）
- ・ 会費の納入をもって会員として登録させていただきます。

※ ご協力いただける方は、別紙郵便振替払込用紙に住所、氏名等をご記入いただき、本日総会・懇親会終了後のお帰りの際に受付までお申し出ください。
後日ご入会いただける場合は、ご面倒でも郵便局にてお支払いください。

※ お問い合わせ先

浜松学院大学教育後援会事務局（浜松学院大学内） 電話（053）450－7000



クルマの新しい乗り方 をご提案。

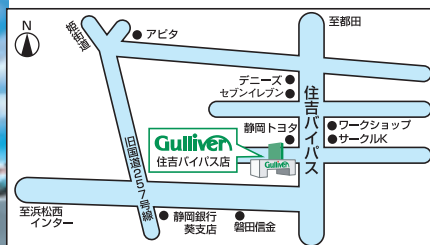
クルマの賃貸プランなど、無理なくあなたの乗りたかったクルマを手に入れる各種プランをご用意しています。全国450店舗のガリバーの買い取り情報から、あなたの乗りたいクルマを見つけます。

ガリバー住吉バイパス店

TEL:0120-12-2699

〒433-8113 浜松市中区小豆餅2丁目17-1

営業時間:AM10:00~PM7:00



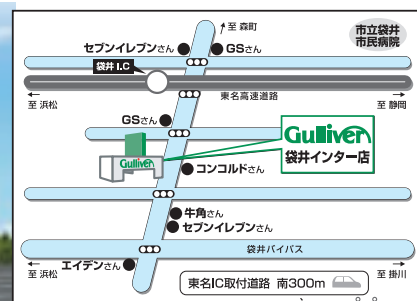
営業部出張査定専用フリーダイヤル ▶ TEL.0120-939-693

ガリバー袋井インター店

TEL:0120-22-3584

〒437-0065 袋井市堀越703-3 火曜日定休

営業時間:AM10:00~PM7:00



興誠学園のあゆみ

- 昭和8年11月 財団法人興誠商業学校設立認可 興誠商業学校開校
- 昭和19年2月 法人を財団法人興誠会に改組、戦時措置令により興誠航空工業学校に改称
- 昭和23年4月 新学制施行により興誠高等学校と改称、興誠中学校を併設
- 昭和25年12月 私立学校法制定により学校法人興誠学園に改組
- 昭和26年4月 浜松短期大学開学
- 昭和27年4月 浜松商科短期大学に改称、興誠商業高等学校に改称
- 昭和42年4月 浜松短期大学に改称、幼児教育科第一部、第二部開設
- 昭和48年4月 興誠高等学校に改称、浜松短期大学付属幼稚園開園
- 昭和61年4月 浜松短期大学に英語科開設
- 平成7年4月 興誠高等学校普通科を男女共学に
- 平成16年4月 浜松学院大学(現代コミュニケーション学部)開学、興誠中学校開校
- 4月 浜松学院大学短期大学部に改称
- 浜松学院大学付属幼稚園に改称
- 平成19年4月 浜松学院大学に子どもコミュニケーション学科開設
- 平成21年4月 浜松学院大学に地域共創学科開設
- 平成23年4月 浜松学院高等学校、浜松学院中学校に改称
- 4月 浜松学院大学付属愛野こども園開園



昭和42年頃の登下校風景



商科第2部 昭和42年度卒業生

興誠学園の教育研究体制



浜松学院大学

静岡県浜松市中区布橋3丁目2番3号
TEL 053-450-7000
FAX 053-450-7110



浜松学院短期大学部

浜松市中区住吉2丁目3番1号
TEL 053-473-6100
FAX 053-473-6196



浜松学院高等学校

静岡県浜松市中区高林1丁目17番2号
TEL 053-471-4136
FAX 053-471-4137



浜松学院中学校

静岡県浜松市中区高林1丁目17番2号
TEL 053-471-4136
FAX 053-471-4137



浜松学院大学付属幼稚園

浜松市中区住吉1丁目22番5号
TEL 053-472-5193
FAX 053-472-7080



浜松学院大学付属愛野こども園

静岡県袋井市愛野南2丁目2番3号
TEL 0538-44-7800
FAX 0538-44-7801

地域共創学科

地域のために
仕事がしたい!

子どもコミュニケーション学科

教師という
仕事がしたい!

幼児教育科

子どもを育てる
仕事がしたい!

浜松学院大学

浜松学院大学短期大学部

現代コミュニケーション学部

●地域共創学科

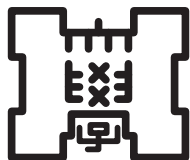
マネジメント専攻／心理専攻

●子どもコミュニケーション学科

幼児教育・保育専攻／初等教育専攻

HGU
HAMAMATSU GAKUIN UNIVERSITY

幼児教育科



浜松学院大学同窓会

〒432-8012 浜松市中区布橋三丁目2番3号

浜松学院大学内 TEL 〈053〉450-7000